

岩美町 妊婦健康診査について

14回 公費負担で受けられます。



●第1回目

【基本検査＋血液検査＋子宮頸部がん検査＋不規則抗体検査】

●第2～5回目 ●第6～14回目のうち7回分

【基本検査】

●第6～14回目のうち1回分

【基本検査＋B群溶血性レンサ球菌（GBS）検査】

●第6～14回目のうち1回分

【基本検査＋ヒト白血病ウイルス-1型（HTLV-1）抗体検査】

いずれかの健診の際にクラミジア検査も追加して実施します。

***上記の検査以外に、必要に応じて追加される検査は、自己負担となります。**

★子宮頸部がん検診★

子宮がんには、子宮の入り口近くにできる頸がんと、子宮の奥のほうにできる体がんがあります。子宮頸部がん検診は、頸がんを発見するために行います。

子宮頸がんは、性交渉で感染するヒトパピローマウイルス（HPV）と密接な関係があり、性行動が活発な20歳代の若い世代を中心に子宮頸がんが増加しています。岩美町では、20歳以上の方を対象に子宮がん検診を実施しています。各地区での集団検診のほか医療機関での個別検診も実施していますので、ご自身のために、ご家族のためにも年に1回は検診を受けましょう。

★不規則性抗体検査★

妊娠初期に不規則性抗体の有無を確認する血液検査であり、新生児溶血性疾患の予知と対策を目的に実施する検査。

★B型肝炎、C型肝炎ウイルス検査★

赤ちゃんに感染しても多くは無症状ですが、将来、肝炎・肝硬変・肝がんになることもあります。B型肝炎ウイルスにより乳児期にまれに重い肝炎を起こすことがあります。陽性の場合、母子感染を防ぐ目的で、対応するために行う検査。

★B群溶血性レンサ球菌（GBS）検査★

妊娠後期に膈周辺から検体を採取する培養検査であり、産道を通して感染する母子垂直感染症（肺炎・敗血症・髄膜炎など）の原因となるB群溶血性レンサ球菌の有無を確認し、新生児の死亡や髄膜炎等による後遺症・重篤化の防止目的に実施する検査。

★ヒト白血病ウイルス-1型（HTLV-1）抗体検査★

成人T細胞白血病の原因となるヒト白血病ウイルス-1型抗体の有無を確認する血液検査。ウイルスを体内に持っても発病しない状態（キャリア）で経過することが多いが、母乳で感染することが多く、産後の母子感染を防ぐ目的で実施する検査。

★クラミジア検査★

膈周辺から検体を採取する培養検査であり、産道をとおして感染する母子垂直感染症（結膜炎・肺炎）の原因となるクラミジア・トラコマチスの有無を確認し、陽性の場合は出産までに治療し、母子感染を防ぐ目的で実施する検査。



県外での里帰り出産や助産所での出産をされる方は、

出産後に健康診査の費用を一部助成します。

★手続きに必要なもの★

- ①妊婦健康診査受診票（未使用）
- ②妊婦健康診査領収書
- ③母子手帳
- ④振込口座の分かるもの

【お願い】

県外での里帰り出産や助産所での出産を希望される方は事前にご連絡ください。

問い合わせ先：岩美町役場 子ども未来課 電話73-1424